

《環境対策と測定法の新しい展開》

環境汚染物質の分析は、環境保全の基礎となっており、新しい汚染物質対策をすすめる上で基本的なものです。新しい環境基準や、新しい汚染問題対策として現在進行中のもの、或は改訂された分析法などについて講演会を開きます。またPCB処理については、我が国は今まで取り組んできましたが、ストックホルム条約(POPs 条約)のもと、その消滅に向けて取り組みが進められています。しかし、かつて無害とされ広範囲に用いられていたこともあり、PCBの汚染は潜在的に存在し、また新しい発生源が見つかることもあります。低濃度PCB汚染処理の現状、新たなPCB汚染とそれを把握し対策するための分析法について講演をいたします。

●詳細

日時：2013年3月11日(月) 10時25分～16時20分

場所：科学技術館 サイエンスホール(東京都千代田区北の丸公園2-1)

地図 <http://www.jsf.or.jp/map/>

定員：200名【締切：2013年3月6日(水) 17時 *定員になり次第締め切ります】

参加費：会員及び共催会員 3,000円 非会員 5,000円

●プログラム ※スケジュール講演題目は主催者と講演者の都合により変更する場合がございますが、ご了承ください。

10:25～10:30	開会の挨拶
10:30～11:00	「PCB汚染廃棄物対策の展開」 環境省 廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課長 廣木雅史氏
11:00～11:30	「JESCOにおける低濃度PCB分析法」 日本環境安全事業株式会社 渡辺謙二氏
11:30～12:00	「顔料中PCB分析の諸問題」 株式会社島津テクノリサーチ 高菅卓三氏
12:00～13:00	お昼休憩
13:00～13:30	「有害大気汚染物質の分析法」 一般財団法人日本環境衛生センター 吉村有史氏
13:30～14:00	「アスベストの分析法と精度管理」 独立行政法人国立環境研究所 山本貴士氏
14:00～14:30	「有害化学物質による水質汚濁の防止に向けて」 環境省 水・大気環境局水環境課 課長補佐 山本郷史氏
14:30～15:00	「LC/MS/MSを用いた界面活性剤(LAS)分析法」 株式会社環境管理センター 竹内英樹氏
15:00～15:30	「ヘキサメチレンテトラミンによる水系汚染とその分析法」 埼玉県環境科学国際センター 資源循環領域 化学物質担当 担当部長 野尻喜好氏
15:30～15:40	休憩
15:40～16:10	「改定底質調査法について」 いであ株式会社 環境測定事業部 部長 鈴木幹夫氏
16:10～16:20	閉会の挨拶

●お申し込み方法：メールにてお申し込みください。件名を「3/11講演会参加申込」とし、1. お名前 2. 勤務先名称・ご所属部署名 3. 連絡先メールアドレス・電話番号 5. 会員/非会員の区別 を記載し、送信してください。受付完了後、返信にて受付番号などお知らせいたします。申込先メールアドレス：npo.caqc@forest.ocn.ne.jp

《お問い合わせ先・お申し込み先》

特定非営利活動法人 環境測定品質管理センター 事務局

E-mail：npo.caqc@forest.ocn.ne.jp URL：<http://www4.ocn.ne.jp/~caqc/>